

“智慧”への昇華をめざして

今年度は110名の新入生を迎え、全校生徒323名で新しい1年をスタートしました。昨年度はコロナ禍の中でも、「できることをできる形で」新たな教育活動を進めることができました。生徒一人一台タブレットが貸与されたことにより、生徒たちは、授業中はもちろん、校外学習や文化祭等の行事といった様々な場面でもいろいろな情報を得て、新たな学び・新たな活動を創造しています。

そうした中で、今年度は、「“智慧”への昇華」を合言葉に、学びの質を高めていきたいと考えています。タブレットや教科書等から得たことを“知識”としてインプットするだけでなく、それを自分の言葉でアウトプットしたり、さらに他の活動場面で応用したり、日常生活で使ったりできるような生徒に育てたいと願ってのことです。

今、ウクライナでは戦争が続き、ニュース等で報道されていますが、先日東京のある小学生が自分のお小遣いを持ってウクライナ大使館を訪れたことを伝えていました。募金をするのではなく、戦争が起きていることを自分なりに受け止め、言動に表していける姿がとても印象的でした。緑陽中の生徒たちも「けんかはよくない」「いじめはダメだ」といろいろな機会に聞いています。それを“知識”として知っているだけでなく、自分の言葉や行動に表していける生徒へ高めていく教育活動を進めていきます。それが“智慧”への昇華です。

保護者の皆様、地域の皆様には大変多くの場面で学校を助けていただき、コロナ禍でも生徒たちの学びを止めることなく学校が動いています。心より感謝申し上げます。今年度も引き続き、人と人の関わりを大切に、学校と家庭・地域が一体となって生徒の活動を支えていくことに努めていきます。今年度もご支援のほどよろしくお願いいたします。

令和4年4月7日

各務原市立緑陽中学校長

